



# 金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行・編集 責任者：

般若慎一郎

## 新年のご挨拶～金屋町まちづくり協議会 会長 般若慎一郎

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、この1年を金屋町通信の紙面でふり返ってみました。いろいろなことがありましたが、私が最も感動的に感じた出来事は「住民運動会において総合3位・リレー優勝」です。前年がぶっちぎりの最下位だったことを受けて、体育振興会委員の堀井さんが自治会拡大会議の場で何度も窮状を訴えて協力を求めたところ、各旧町の副会長や婦人会役員がその気になって住民の方々に当日の参加をお願いしたら、多くの参加者を得て結果が出たということです。

みんながその気になって協力しあい、力を出し合ったら結果が出るということは何事にも通じます。今年の運動会でも上位入賞を期待しますが、それだけでなくより住み良い金屋町を目指して、まちづくり活動へのご協力・ご尽力をどうかよろしくお願い致します。



## アニメ君の名は&まつり屋台・起こし太鼓の町

### 飛騨古川へ視察研修



11月23日、金屋町まちづくり協議会は金屋町元気プロジェクトと合同で飛騨古川町へ視察研修に行ってきました。古河町は高山方面へ行った帰り道などに何度か行ったことがあったのですが、改めてガイドさんに案内してもらい、また観光協会事務局長の話聞くことで新発見があり、とても新鮮に感じました。

古川町は昨年大ヒットしたアニメ映画「君の名は」の舞台になったことから、いま若者たち

の聖地巡礼で賑わっています。飛騨市はこのチャンスを何とか観光産業に結びつけようと、映画に出た組みひもの製作体験施設を整備するなど、工夫を凝らしているところです。

また9台ある「まつり屋台」が、高岡の曳山と同じくユネスコ無形文化遺産に登録されていて、立派な「まつり会館」に常時3台が展示されています。

古川町は4つの町村が合併してできた飛騨市に属しますが、合併前は31,000人だった人口が26,000人まで減少しているそうです。そんな小さ



な町で9台もの立派なまつり屋台を維持するのは大変だろうと思い質問してみました。屋台組（高岡では山町にあたる）は小さなところは10数軒で、事務局長の地域は約40軒で維持しているそうで、古川祭の為に1軒あたり月々1万数千円を負担していると聞いてびっくりしたのですが、高岡の山町でもよく似たものですかね？お金の問題だけでなく、屋台の運営の全てを住民がしており人手不足で、独居老人まで動員しているとのことでした。

金屋町のように国の重伝建に選定されているわけではないが、伝統的建築様式を守る住民気質が強いそうです。町を歩いてみて、高岡には無い観光産業への本気度を感じました。

## 節目の第10回で 金屋町楽市は終了へ

金屋町楽市は第10回を迎えて開催されましたが、金屋町自治会として節目の10回をもって終了したいと市や大学へ宣言しました。全員ではないにしろ、自宅を会場として



提供してきた伝統的町家のお宅とか、通行止めの要員を毎年務めてきた自治会役員たちから、負担になっているのもう辞めさせて欲しいという希望が何年か前から出ている中で、今日までなだめすかして何とか協力を取り付けてきたという事情があったようです。

いろんな考えがあるでしょうが、私の場合はとても残念！という気持ちです。しかしその半面で、自治会運営を任せている役員達が協議を尽くした結果であれば、受け入れなければいけないと考えます。

ただ高岡クラフトコンペなど、同時開催の関連イベントは今後も残るわけで、高岡鋳物発祥

地の金屋町として関連イベントを支援し、高岡の賑わいづくりに貢献できて、かつ地元負担がかからない何らかの新たなイベントへ繋げていけないかと検討されています。

## 高岡産業文化奨励事業に認定 愛称を「さまのこハウス」に 居住体験宿泊施設

元気プロジェクトの事業で、ポケットパークに面して工事中の居住体験宿泊施設において「移住希望者宿泊体験施設への展示スペース設置」事業が、高岡商工会議所の「高岡産業文化奨励事業」に認定され、いくらかの助成金をいただけることになりました。



これは若手工芸作家たちを支援する目的で、店舗兼ギャラリーを設置し、彼らの作品を展示販売しようというものです。

ちなみに12月の委員会において、施設の愛称を約30の応募の中から選定し「さまのこハウス」に決定しました。

### 11月の金屋町拡大会議

- ・連動型警報器：本年度に金屋本町にてモニタリング後、来年度に段階的に各旧町へ随時設置していく予定
- ・消防訓練：平成30年1月14日（日）午前中を予定
- ・総会&新年会：平成30年2月10日（土）まんよう荘
- ・その他：金屋町楽市について（嶋田会長より）～10年を節目としてやめます。それに代わってクラフトコンペ等と連携し新たな金屋町の行事を何か出来ないだろうか、住民に負担が生じないやり方で皆さんと一緒に考えていきたい。